

( 報告事項 )

第1266回経営委員会資料  
平成28年8月30日

# 予算の執行状況

(平成28年7月末)



# I 一般勘定の状況

## 1 予算との比較

7月末標準進捗率 33.3%

事業収入は、2,363億円（進捗率33.7%）で、配当金の受取等により、全体としてはやや標準を上回る進捗率となった。

事業支出は、2,197億円（進捗率31.7%）で、全体として標準進捗率を下回る支出状況となった。

以上により、事業収支差金は165億円の黒字となった。

### 事業収入

- 受信料は、契約収納活動の推進により、受信契約件数が増加し、標準どおりの進捗率となった。
- 交付金収入は、7月の参議院選挙の政見・経歴放送実施に伴う選挙放送関係交付金の収入により、標準進捗率を上回った。
- 財務収入は、6月の関連団体からの配当金により、標準進捗率を上回った。
- 雑収入は、前々年度以前受信料の回収額の増等により、標準進捗率を上回った。

### 事業支出

- 国内放送費は、7月に参議院議員選挙や東京都知事選挙の放送実施経費などの支出があったものの、全体としては標準進捗率を下回った。今後、リオ五輪・パラリンピックの放送実施による支出増が見込まれる。
- 国際放送費は、ニュース・番組の充実等を推進しているが、全体としては標準進捗率を下回った。
- 契約収納費は、営業活動の強化に取り組んだことにより、標準進捗率を上回った。
- 退職手当・厚生費は、退職給付費の増等により、標準進捗率を上回った。

## (事業収支)

(単位 億円)

区 分	予 算 額	7 月 末 実 績 額	予 算 残 額	進 捗 率
<b>事 業 収 入</b>	<b>7,017</b>	<b>2,363</b>	<b>4,654</b>	<b>33.7%</b>
受 信 料	6,758	2,248	4,510	33.3%
交 付 金 収 入	37	13	24	35.7%
副 次 収 入	80	26	54	32.3%
財 務 収 入	85	63	21	74.4%
雑 収 入	27	12	14	46.0%
特 別 収 入	28	0.09	28	0.4%
<b>事 業 支 出</b>	<b>6,937</b>	<b>2,197</b>	<b>4,739</b>	<b>31.7%</b>
国 内 放 送 費	3,210	986	2,224	30.7%
国 際 放 送 費	249	75	173	30.4%
契 約 収 納 費	589	206	382	35.0%
調 査 研 究 費	102	23	78	22.7%
給 与	1,174	376	797	32.1%
退 職 手 当 ・ 厚 生 費	617	220	396	35.7%
共 通 管 理 費 等	198	58	139	29.5%
減 価 償 却 費	738	246	492	33.3%
特 別 支 出	27	3	23	13.5%
予 備 費	30	-	30	0.0%
<b>事 業 収 支 差 金</b>	<b>80</b>	<b>165</b>	<b>△ 85</b>	<b>-</b>

## 2 前年同月との比較

事業収入は、受信料や受取配当金の増等により、前年同月と比べ89億円増の2,363億円となった。

事業支出は、国内放送費や国際放送費等の増により、前年同月と比べ59億円増の2,197億円となった。

以上により、事業収支差金は、前年同月と比べ30億円増の165億円となった。

### 事業収入

- 受信料は、契約総数・衛星契約数ともに増加したことにより、実績額は前年同月を上回った。
- 財務収入は、関連団体からの配当の増等により、前年同月を上回った。

### 事業支出

- 国内放送費は、番組の充実に加え、参議院議員選挙の放送実施経費などにより、前年同月を上回った。
- 国際放送費は、番組の充実・強化に伴う制作費の増等により、前年同月を上回った。
- 契約収納費は、体制見直しに伴い地域スタッフの手数料が減となった一方で、法人委託の拡大に伴う手数料の増加など営業活動の強化により、全体としては前年同月を上回った。
- 給与は、制度改革等により減となった一方で、退職手当・厚生費は、退職給付費の増等により前年同月を上回った。

## (事業収支)

(単位 億円)

区 分	前年同月末 実績額	7月 末 実績額	増減額	
			増減額	増減率
事業収入	<b>2,273</b>	<b>2,363</b>	<b>89</b>	<b>3.9%</b>
受信料	2,196	2,248	51	2.4%
交付金収入	13	13	0.2	1.8%
副次収入	25	26	0.8	3.3%
財務収入	25	63	37	144.1%
雑収入	12	12	0.03	0.3%
特別収入	0.7	0.09	△ 0.6	△ 86.5%
事業支出	<b>2,138</b>	<b>2,197</b>	<b>59</b>	<b>2.8%</b>
国内放送費	957	986	29	3.0%
国際放送費	65	75	10	15.3%
契約収納費	198	206	7	4.0%
調査研究費	26	23	△ 3	△ 13.1%
給 与	381	376	△ 5	△ 1.4%
退職手当・厚生費	207	220	13	6.5%
共通管理費等	59	58	△ 0.9	△ 1.5%
減価償却費	236	246	9	4.0%
特別支出	4	3	△ 0.7	△ 17.3%
事業収支差金	<b>135</b>	<b>165</b>	<b>30</b>	<b>-</b>

### 3 受信料の状況

受信料は、受信契約件数の増加により前年同月に比べ51億円増加した。

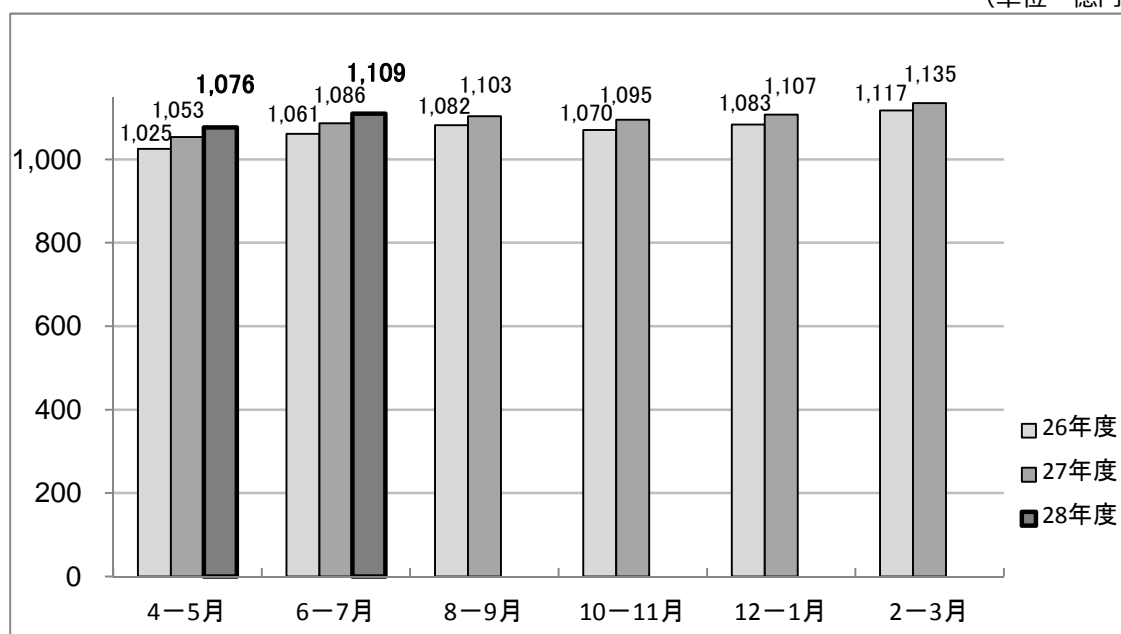
受信契約件数については、営業改革の推進により、契約総数・衛星契約数ともに年間増加目標の標準進捗率を上回った。

(単位 億円)

区 分	27年度 7月末	28年度 7月末	増減額
受 信 料	2,196	2,248	51
受信料収納額	2,139	2,186	46
回収予定額	56	62	5

#### 受信料収納額の期別推移

(単位 億円)



## 受信契約状況

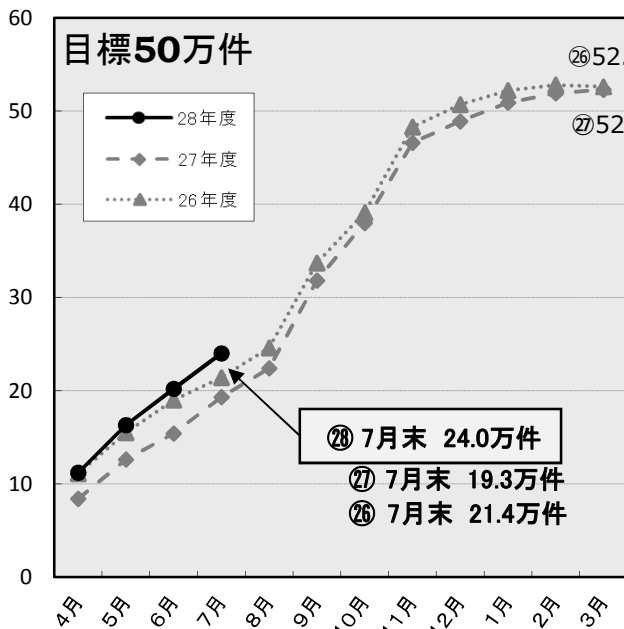
7月末標準進捗率 33.3%

(単位 万件)

区分	27年度			28年度			28年7月末 契約現在数
	年間増加目標	7月末実績	進捗率	年間増加目標	7月末実績	進捗率	
契約総数	51	19.3	37.8%	50	24.0	48.0%	4,002.1
衛星契約数	60	30.2	50.4%	63	27.5	43.6%	1,976.5
未収数	△ 13	△ 2.8	22.0%	△ 11	△ 4.2	38.2%	105.8

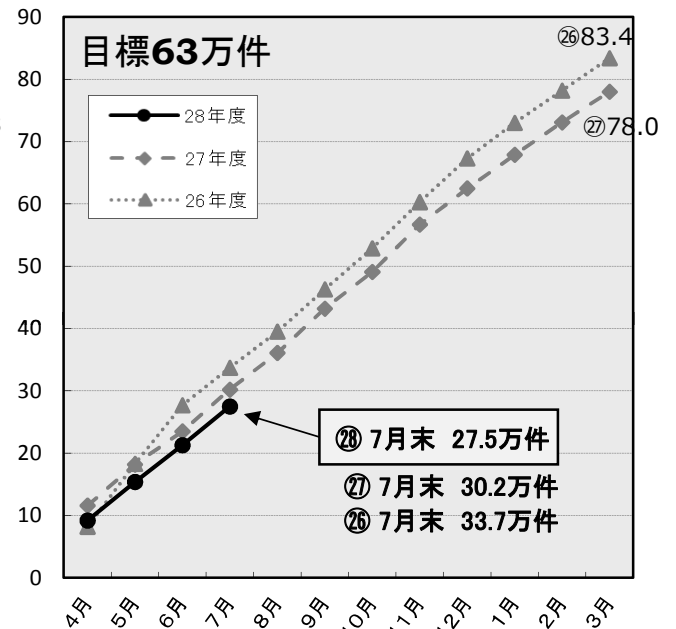
### 【契約総数増加】

(単位 万件)



### 【衛星契約数増加】

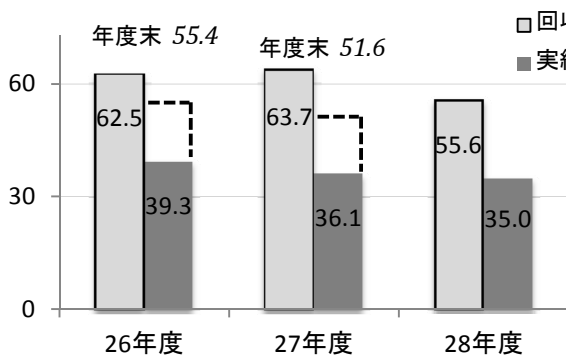
(単位 万件)



### 【参考】前年度・前々年度以前受信料の回収額

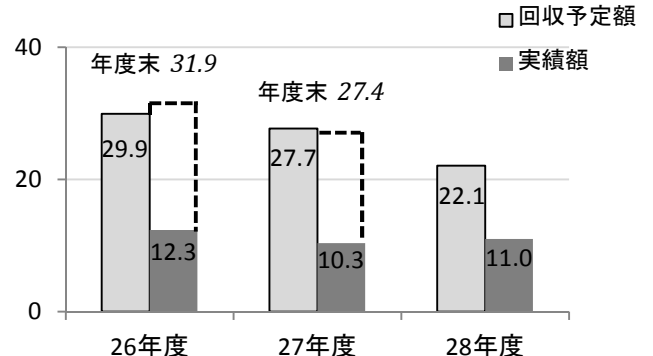
・前年度受信料回収額

(単位 億円)



・前々年度以前受信料回収額 (雑収入に計上)

(単位 億円)



## Ⅱ 放送番組等有料配信業務勘定の状況

### 事業収支のポイント

事業収入は、標準進捗率を下回ったが、前年同月比では0.8億円増の7.0億円となった。  
 事業支出は、6.3億円となり、効率的な業務実施により標準進捗率を下回った。  
 以上により、事業収支差金は0.7億円の黒字となった。

(事業収支) 7月末標準進捗率 33.3%

(単位 億円)

区 分	予 算 額	7 月 末 実 績 額	予 算 残 額	進 捗 率
事 業 収 入	22.1	7.0	15.1	31.8%
うち視聴料収入	20.1	6.5	13.5	32.6%
事 業 支 出	22.0	6.3	15.7	28.6%
事 業 収 支 差 金	0.1	0.7	△ 0.5	-

前年同月末 実 績 額	増 減 額
6.2	0.8
6.0	0.4
6.1	0.1
0.05	0.6

### 視聴料収入の単月推移

